

大分市告示第595号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定により、特定施設の設置許可申請があったので、その概要を次のとおり告示する。

なお、当該特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく事前評価に関する事項を記載した書面を、大分市環境部環境対策課及び大分市ホームページにおいて告示の日から3週間縦覧に供する。

2025年(令和7年)12月18日

大分市長 足立 信也



申請の概要

- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所
住友化学株式会社 大分工場
工場長 瀧 敏晃
大分市大字鶴崎2200番地
- (2) 工場又は事業場の名称及び所在地
住友化学株式会社 大分工場
大分市大字鶴崎2200番地
- (3) 特定施設に関する事項

種 類		47号 二 混合施設		47号 二 混合施設		
能 力		容 量 20 0		容 量 20 0		
寸 法		直径 261mm×高さ 440mm		直径 261mm×高さ 440mm		
工 事 着 手 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)2月11日		2026年(令和8年)2月11日		
工 事 完 成 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)3月31日		2026年(令和8年)3月31日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)4月1日		2026年(令和8年)4月1日		
操業の形態		バッチ生産		バッチ生産		
使用時間間隔		1バッチ/14日		1バッチ/14日		
1 日 当 た り の 使 用 時 間		24 時間		24 時間		
使 用 の 季 節 的 変 動		なし		なし		
汚水等の 1日当たりの量		単 位	通常	最大	通常	最大
		m ³ /日	—	—	—	—
汚 水 等 の 汚 染 状 態	項 目	単 位	通常	最大	通常	最大
	水素イオン 濃度指数	pH	—	—	—	—
	生物化学的 酸素要求量	mg/L	—	—	—	—
	化学的 酸素要求量	mg/L	—	—	—	—
	浮遊物質量	mg/L	—	—	—	—
	窒素含有量	mg/L	—	—	—	—
	磷含有量	mg/L	—	—	—	—

種 類		47号 二 混合施設		47号 二 混合施設		
能 力		容 量 20 ㍓		容 量 20 ㍓		
寸 法		直径 261mm×高さ 440mm		直径 261mm×高さ 440mm		
工 事 着 手 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)2月11日		2026年(令和8年)2月11日		
工 事 完 成 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)3月31日		2026年(令和8年)3月31日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)4月1日		2026年(令和8年)4月1日		
操業の形態		バッチ生産		バッチ生産		
使用時間間隔		1バッチ/14日		1バッチ/14日		
1 日 当 た り の 使 用 時 間		24 時 間		24 時 間		
使 用 の 季 節 的 変 動		なし		なし		
汚水等の 1日当たりの量		単 位	通常	最大	通常	最大
		m ³ /日	—	—	—	—
汚 水 等 の 汚 染 状 態	項 目	単 位	通常	最大	通常	最大
	水素イオン 濃度指数	pH	—	—	—	—
	生物化学的 酸素要求量	mg/L	—	—	—	—
	化学的 酸素要求量	mg/L	—	—	—	—
	浮遊物質	mg/L	—	—	—	—
	窒素含有量	mg/L	—	—	—	—
	磷含有量	mg/L	—	—	—	—

種 類		47号 二 混合施設		47号 二 混合施設		
能 力		容 量 20 ㍓		容 量 20 ㍓		
寸 法		直径 261mm×高さ 440mm		直径 261mm×高さ 440mm		
工 事 着 手 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)2月11日		2026年(令和8年)2月11日		
工 事 完 成 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)3月31日		2026年(令和8年)3月31日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)4月1日		2026年(令和8年)4月1日		
操業の形態		バッチ生産		バッチ生産		
使用時間間隔		1バッチ/14日		1バッチ/14日		
1 日 当 た り の 使 用 時 間		24 時 間		24 時 間		
使 用 の 季 節 的 変 動		なし		なし		
汚水等の 1日当たりの量		単 位	通常	最大	通常	最大
		m ³ /日	—	—	—	—
汚 水 等 の 汚 染 状 態	項 目	単 位	通常	最大	通常	最大
	水素イオン 濃度指数	pH	—	—	—	—
	生物化学的 酸素要求量	mg/L	—	—	—	—
	化学的 酸素要求量	mg/L	—	—	—	—
	浮遊物質量	mg/L	—	—	—	—
	窒素含有量	mg/L	—	—	—	—
	磷含有量	mg/L	—	—	—	—

種 類		47号 二 混合施設		47号 二 混合施設		
能 力		容 量 20 ㍓		容 量 20 ㍓		
寸 法		直径 261mm×高さ 440mm		直径 261mm×高さ 440mm		
工 事 着 手 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)2月11日		2026年(令和8年)2月11日		
工 事 完 成 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)3月31日		2026年(令和8年)3月31日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		2026年(令和8年)4月1日		2026年(令和8年)4月1日		
操業の形態		バッチ生産		バッチ生産		
使用時間間隔		1バッチ/14日		1バッチ/14日		
1 日 当 た り の 使 用 時 間		24 時 間		24 時 間		
使 用 の 季 節 的 変 動		なし		なし		
汚水等の 1日当たりの量		単 位	通常	最大	通常	最大
		m ³ /日	－	－	－	－
汚 水 等 の 汚 染 状 態	項 目	単 位	通常	最大	通常	最大
	水素イオン 濃度指数	pH	－	－	－	－
	生物化学的 酸素要求量	mg/L	－	－	－	－
	化学的 酸素要求量	mg/L	－	－	－	－
	浮遊物質	mg/L	－	－	－	－
	窒素含有量	mg/L	－	－	－	－
	磷含有量	mg/L	－	－	－	－

(4) 汚水等の処理施設に関する事項

種	類	総合排水処理施設				
処 理 の 方 式		油分離、中和、活性汚泥処理、脱磷処理				
能	力	BOD 23.1 t/日				
構	造	コンクリート製				
主 要 寸 法		曝気槽 12,000 m ³ 、沈殿槽 4 基 合計 13,350 m ³				
工事着手予定年月日		既 設				
工事完成予定年月日		既 設				
使用開始予定年月日		既 設				
1日当たりの使用時間		24 時間(季節変動なし)				
汚水等の 汚染状態の 値及び量	項 目	単 位	通 常		最 大	
			処理前	処理後	処理前	処理後
	水素イオン 濃度指数	pH	2 ~ 12	5.8 ~ 8.6	2 ~ 12	5.8 ~ 8.6
	生物化学的 酸素要求量	mg/L	940	15	1,200	20
	化学的 酸素要求量	mg/L	1,000	40	1,300	45
	浮遊物質	mg/L	110	20	130	25
	窒素含有量	mg/L	360	8	500	10
	磷含有量	mg/L	100	3	200	5
	ジクロロメタン	mg/L	0.04未満	0.04未満	0.04	0.04
	ふっ素	mg/L	15	6	20	7
	ダイオキシン類	pg-TEQ/L	2未満	2未満	2	2
	1日あたりの 汚水等の量	m ³ /日	16,460	85,000	16,460	90,000

(5) 排出水の量及び汚染状態の値

排水口		No. 1		No. 2、3		
1日あたりの 排水の量	単位	通常	最大	通常	最大	
	m ³ /日	85,000	90,000	25,000	47,500	
汚水等の 汚染状態	項目	単位	通常	最大	通常	最大
	水素イオン 濃度指数	pH	5.8 ～ 8.6	5.8 ～ 8.6	5.8 ～ 8.6	5.8 ～ 8.6
	生物化学的 酸素要求量	mg/L	15	20	—	—
	化学的 酸素要求量	mg/L	40	45	5	7
	浮遊物質量	mg/L	20	25	20	25
	窒素含有量	mg/L	8	10	1以下	1
	磷含有量	mg/L	3	5	1以下	1
	油 分	mg/L	0.5	0.5	—	—
	フェノール	mg/L	0.2	0.2	—	—
	シアン	mg/L	検出されない	検出されない	—	—
	ふっ素	mg/L	6	7	—	—
	ジクロロメタン	mg/L	0.04	0.04	—	—
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.012	0.012	—	—
	テトラクロロエチレン	mg/L	0.02	0.02	—	—
	ほう素	mg/L	3	3	—	—
	ダイオキシン類	pg-TEQ/L	2	2	—	—
放 流 先		乙津川		鶴崎泊地		